表Ⅱ-11. 始めて糖尿病を指摘されたときに受けた説明と現在の理解の程度(続き)

受けた説明		現在の理解度	理解している	やや理解している	あまり理解していない	理解していない	合計	検定 χ^2test
日常生活	なし	合併症について	122 53.0%	77 33.5%	18 7.8%	13 5.7%	230	P=0.000
	あり		783 62.3%	400 31.8%	58 4.6%	16 1.3%	1257	
	なし	定期的な通院必要性	190 83.7%	32 14.1%	4 1.8%	1 0.4%	227	P=0.026
	あり		1120 89.6%	99 7.9%	22 1.8%	9 0.7%	1250	
	なし	日常生活の自己管理方法	145 63.9%	62 27.3%	14 6.2%	6 2.6%	227	P=0.003
	あり		856 68.5%	346 27.7%	39 3.1%	8 0.6%	1249	
	なし	糖尿病治療薬について	94 45.6%	57 27.7%	36 17.5%	19 9.2%	206	P=0.001
	あり		606 54.3%	332 29.8%	128 11.5%	49 4.4%	1115	
糖尿病治療薬	なし	合併症について	610 57.2%	363 34.0%	65 6.1%	29 2.7%	1067	P=0.000
	あり		295 70.2%	114 27.1%	11 2.6%	0.0%	420	
	なし	定期的な通院必要性	912 86.2%	115 10.9%	21 2.0%	10 0.9%	1058	P=0.000
	あり		398 95.0%	16 3.8%	5 1.2%	0.0%	419	
	なし	日常生活の自己管理方法	679 64.3%	321 30.4%	43 4.1%	13 1.2%	1056	P=0.000
	あり		322 76.7%	87 20.7%	10 2.4%	1 0.2%	420	
	なし	糖尿病治療薬について	431 46.3%	294 31.6%	145 15.6%	60 6.5%	930	P=0.000
	あり		269 68.8%	95 24.3%	19 4.9%	8 2.0%	391	

表Ⅱ-12. 始めて糖尿病を指摘されたときに受けた説明と現在の治療への遵守程度

			守っている	やや守っている	あまり守っていない	守っていない	合計	検定 χ^2test
糖尿病についての説明	なし	通院遵守	424 82.2%	72 14.0%	14 2.7%	6 1.2%	516	P-0.940
	あり		775 82.1%	136 14.4%	25 2.6%	8 0.8%	944	
	なし	食事・運動への遵守	204 40.7%	221 44.1%	68 13.6%	8 1.6%	501	P=0.091
	あり		332 35.2%	466 49.4%	137 14.5%	8 0.8%	943	
	なし	服薬・インスリン注射	339 88.5%	35 9.1%	6 1.6%	3 0.8%	383	P=0.595
	あり		627 86.5%	83 11.4%	8 1.1%	7 1.0%	725	
合併症の種類	なし	通院遵守	558 79.8%	114 16.3%	18 2.6%	9 1.3%	699	P=0.093
	あり		641 84.2%	94 12.4%	21 2.8%	5 0.7%	761	
	なし	食事・運動への遵守	267 39.1%	316 46.3%	90 13.2%	10 1.5%	683	P=0.235
	あり		269 35.3%	371 48.8%	115 15.1%	6 0.8%	761	
	なし	服薬・インスリン注射	443 84.4%	69 13.1%	7 1.3%	6 1.1%	525	P=0.060
	あり		523 89.7%	49 8.4%	7 1.2%	4 0.7%	583	
日常生活	なし	通院遵守	186 81.6%	34 14.9%	5 2.2%	3 1.3%	228	P=0.877
	あり		1013 82.2%	174 14.1%	34 2.8%	11 0.9%	1232	
	なし	食事・運動への遵守	88 40.6%	95 43.8%	29 13.4%	5 2.3%	217	P=0.171
	あり		448 36.5%	592 48.2%	176 14.3%	11 0.9%	1227	
	なし	服薬・インスリン注射	151 89.3%	14 8.3%	3 1.8%	1 0.6%	169	P=0.619
	あり		815 86.8%	104 11.1%	11 1.2%	9 1.0%	939	
糖尿病治療薬	なし	通院遵守	845 80.7%	156 14.9%	34 3.2%	12 1.1%	1047	P=0.047
	あり		354 85.7%	52 12.6%	5 1.2%	2 0.5%	413	
	なし	食事・運動への遵守	361 35.1%	510 49.6%	144 14.0%	14 1.4%	1029	P=0.028
	あり		175 42.2%	177 42.7%	61 14.7%	2 0.5%	415	
	なし	服薬・インスリン注射	656 85.0%	96 12.4%	11 1.4%	9 1.2%	772	P=0.009
	あり		310 92.3%	22 6.5%	3 0.9%	1 0.3%	336	

表Ⅱ-13. 現在の理解の程度と治療への遵守程度

		通院遵守				
		守っている	やや守っている	あまり守っていない	守っていない	合計
通院知識	理解している	1098 86.1%	151 11.8%	23 1.8%	4 0.3%	1276
	やや理解している	69 53.9%	45 35.2%	10 7.8%	4 3.1%	128
	あまり理解していない	13 56.5%	2 8.7%	4 17.4%	4 17.4%	23
	理解していない	3 33.3%	3 33.3%	1 11.1%	2 22.2%	9
	合計	1183	201	38	14	1436

Spearman 順位相関検定 P=0.000

		食事運動遵守				
		守っている	やや守っている	あまり守っていない	守っていない	合計
日常知識	理解している	457 47.2%	408 42.1%	101 10.4%	3 0.3%	969
	やや理解している	58 14.9%	252 64.9%	72 18.6%	6 1.5%	388
	あまり理解していない	6 12.0%	12 24.0%	28 56.0%	4 8.0%	50
	理解していない	2 22.2%	2 22.2%	2 22.2%	3 33.3%	9
	合計	523	674	203	16	1416

Spearman 順位相関検定 P=0.000

		服薬遵守				
		守っている	やや守っている	あまり守っていない	守っていない	合計
薬知識	理解している	543 93.3%	35 6.0%	4 0.7%	0.0%	582
	やや理解している	255 82.5%	45 14.6%	7 2.3%	2 0.6%	309
	あまり理解していない	90 76.3%	22 18.6%	2 1.7%	4 3.4%	118
	理解していない	30 71.4%	7 16.7%	1 2.4%	4 9.5%	42
	合計	918	109	14	10	1051

Spearman 順位相関検定 P=0.000

表 II -14. 現在の治療遵守程度と網膜症程度(眼科受診患者のみ)

		現在の重症度				
		網膜症なし	単純性	前増殖性	増殖性	合計
服薬遵守	守っている	136 28.5%	182 38.1%	90 18.8%	70 14.6%	478
	やや守っている	10 19.6%	26 51.0%	10 19.6%	5 9.8%	51
	あまり守っていない	1 14.3%	3 42.9%	1 14.3%	2 28.6%	7
	守っていない	1 10.0%	4 40.0%	3 30.0%	2 20.0%	10
	合計	148	215	104	79	546

Spearman 順位相関検定 P=0.297

		現在の重症度				
		網膜症なし	単純性	前増殖性	増殖性	合計
通院遵守	守っている	204 36.1%	196 34.7%	96 17.0%	69 12.2%	565
	やや守っている	34 31.2%	47 43.1%	19 17.4%	9 8.3%	109
	あまり守っていない	5 19.2%	9 34.6%	4 15.4%	8 30.8%	26
	守っていない	4 28.6%	7 50.0%	1 7.1%	2 14.3%	14
	合計	247	259	120	88	714

Spearman 順位相関検定 P=0.246

		現在の重症度				
		網膜症なし	単純性	前増殖性	増殖性	合計
食事運動遵守	守っている	113 37.2%	101 33.2%	54 17.8%	36 11.8%	304
	やや守っている	103 35.2%	111 37.9%	42 14.3%	37 12.6%	293
	あまり守っていない	19 20.4%	41 44.1%	19 20.4%	14 15.1%	93
	守っていない	4 33.3%	3 25.0%	4 33.3%	1 8.3%	12
	合計	239	256	119	88	702

Spearman 順位相関検定 P=0.089

調 査 用 紙

内科専門医用調査用紙

I-DR

整理番号	«No»

糖尿病網膜症に関する調査

（内科医師調査票）

記入上のお願い

- 回答は、本アンケート用紙の該当する<u>数字に○をつけてください</u>。
  また記述の場合は(　)内に記載してください。
- 先生が複数の医療機関にご勤務の場合は、主たる勤務先についてご回答ください。
- ご記入いただいたアンケート用紙は、**<u>平成 13 年 3 月 23 日(金)までに</u>**同封の返信用封筒にて事務局まで**<u>ご投函</u>**くださいますようお願いいたします。
- ご不明の点がございましたら事務局までお願いいたします。
  なお、メールまたはファックスでご連絡いただけると幸いです。

アンケート返送先・お問合せ

〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35 番地

慶應義塾大学医学部 医療政策・管理学教室

(担当：坂巻)

TEL: 03-5363-3774(直通)　FAX :03-3225-4829

E-mail: sakamaki@ihep.or.jp

Ⅰ. ご診療状況の概要についてお伺いします。

Q1. 先生が１ケ月間に診療されているおおよその**糖尿病患者数(新患＋再来患者)**をご記入ください。

約＿＿＿＿名

Q2. 先生が１ケ月間に診察される糖尿病患者(Q1)のうち、**新患患者数**をご記入ください。

約＿＿＿＿名

Q3. 調査期間（3/12～3/17）内にご診察された糖尿病患者数をご記入ください。
（患者アンケートを実施の有無に関わりなく、すべての糖尿病患者を含みます）

約＿＿＿＿名

Ⅱ. 糖尿病の患者教育についてお伺いします。

Q4. 糖尿病患者の教育のためにどのような方法を用いていますか。用意されているもの**すべてに○**をお付けください。

1. パンフレット　2. 病院の糖尿病教室　3. 保健所や市の糖尿病教室への紹介
4. 患者会の紹介　5. 書籍の紹介
6. その他（＿＿＿＿＿＿＿＿）

Q5. 患者さんが定期的な通院や指示した治療を守らない場合、どのように対処していますか。

1. 来院時に患者に口頭で注意　2. 電話で指示、注意
3. その他（＿＿＿＿＿＿＿＿）

Q6. 患者に教育をする場合、家族に対する教育にも配慮されますか。

1. 配慮する　2. あまり配慮しない　3. 配慮しない

III. 糖尿病診療に関して他医療機関との連携についてお伺いします。

Q7. 糖尿病の患者のうちで、他科あるいは他の医療機関に 1 ヶ月に月およそ何人の患者を紹介していますか。(新患としてだけではなく、継続的に通院されている患者のチェック依頼等を含みます。)

① 他院の内科：________ 人

② 他院の眼科：________ 人

③ 院内の眼科：________ 人

Q8. より良い糖尿病治療の体制作りにおいて、以下はどの程度整備されているとお考えですか。

① 医療機関の間の連携体制	1. 全くなく整備が必要　2. 一部機能しているが改善の余地あり 3 機能しており現状で十分　4. 整備の必要なし
② 統一した紹介状の作成	1. 全くなく整備が必要　2. 一部機能しているが改善の余地あり 3 機能しており現状で十分　4. 整備の必要なし
③ 糖尿病の診療ガイドライン	1. 全くなく整備が必要　2. 一部機能しているが改善の余地あり 3 機能しており現状で十分　4. 整備の必要なし
④ 医療機関、地域、職場での標準化された患者の教育プログラム	1. 全くなく整備が必要　2. 一部機能しているが改善の余地あり 3 機能しており現状で十分　4. 整備の必要なし
⑤ 内科医の網膜症予防に対する体制	1. 全くなく整備が必要　2. 一部機能しているが改善の余地あり 3 機能しており現状で十分　4. 整備の必要なし
⑥ 職場や地域の検診における糖尿病網膜症検査	1. 全くなく整備が必要　2. 一部機能しているが改善の余地あり 3 機能しており現状で十分　4. 整備の必要なし
その他（あれば、具体的にご記入ください：________________________）	

Ⅳ. 眼科とのご関係についてお伺いします。

Q9. 眼科へ糖尿病の患者を紹介される場合、紹介の形式はそれぞれどの程度の割合ですか。

①紹介状を特につけず、口頭による紹介：　(_____%)

②紹介状(検査依頼)はあるが、内科の詳細情報(検査値･所見など)はつけない　(_____%)

③紹介状(検査依頼)に内科の詳細情報(検査値･所見など)をつける　(_____%)

Q10. どのようなタイミングで眼科医へ網膜症検査の依頼をされていますか。依頼をされているタイミングのすべてに○をお付けください。

1. 耐糖能異常が指摘された段階
2. 糖尿病の確定診断後すぐ
3. 経口的糖尿病薬の服用開始頃から
4. インスリン治療を開始する頃から
5. 眼科症状が出現してから
6. その他（____________________）

Ⅴ. 先生のご勤務先、先生ご自身についてお伺いします。

Q11. 主なご勤務先の区分をご記入ください。

１．病院　　２．有床診療所（２０床未満）　３．無床診療所

Q12 以下の勉強会、学会に参加されているものすべてに○をお付けください。

1. 日本糖尿病学会
2. 日本糖尿病眼学会
3. 日本糖尿病合併症学会
4. 日本成人病学会
5. 糖尿病学の進歩
6. 西東京臨床糖尿病研究会
7. 地域を中心とした糖尿病の勉強会
8. その他（____________________）

（質問は以上です。ご協力ありがとうございました）

内科受診患者用調査用紙

整理番号	«No»

アンケート

待ち時間中に記入していただき、記入が終わったら主治医にお渡し下さい。

・このアンケートは、あなたが現在の診療内容などにどのように感じているかをお聞きし、今後のより良い治療に結びつけることを目的としています。
・あなたのプライバシーは十分配慮し、他に漏れることはありませんので、現在の状況や感じていることをありのままにご記入下さい。調査の主旨にご同意いただける場合は、アンケートにご協力いただきますようお願いいたします。
・わからないことや質問がありましたら、主治医にお尋ねください。

記 入 日：_____月_____日　　前回の診察日：_____月_____日

性　　別：1. 男　　2. 女

生年月日：（ 明治　大正　昭和　平成 ）______年_____月_____日

質問1：はじめて糖尿病（または疑い）といわれたのはいつ頃でしたか。

（_______）年（_______）月頃 または （_______）歳のとき

質問2：はじめて糖尿病（または疑い）といわれたのはどこででしたか。

1. 住民検診　　2. 職場での検診　　3. 学校での検診　　4. 人間ドック
5. 病院･診療所　　6. その他(________________________________)

質問3：はじめて糖尿病（または疑い）といわれたとき、糖尿病についてどのような説明を受けましたか。説明をうけたもの<u>すべてに○</u>をつけて下さい。

1. 糖尿病はどのような病気か　　2. 合併症の種類
3. 日常生活の注意（食事や運動など）　　4. 薬について（効き方、副作用など）

その他受けた注意（________________________________）

附問3-1：初めて糖尿病（または疑い）といわれたとき、糖尿病網膜症（眼が見えにくくなったり、みえなくなったりする症状）のことを説明されましたか。

1. 説明された　　2. 説明はなかった

質問4：糖尿病（または疑い）といわれてから、すぐに医療機関を受診しましたか。

1. 1年以内に受診した　　2. 1年以上放置した

質問5：現在、かかりつけ医では、どのような糖尿病治療を受けていますか。
あてはまるもの<u>すべてに○</u>をつけて下さい。

1. 食事・運動療法のみ	2. のみ薬を服用	3. インスリン注射

質問6：かかりつけ医で指示されている糖尿病治療（食事の指示や服薬）をどの程度守っていますか。

① かかりつけ医への通院間隔	1. 守っている　2. ほぼ守っている 3. あまり守っていない　4. 守っていない
② 食事・運動療法	1. 守っている　2. ほぼ守っている 3. あまり守っていない　4. 守っていない
② 服薬・インスリン注射	1. 守っている　2. ほぼ守っている 3. あまり守っていない　4. 守っていない

質問7：<u>日常の診療以外で</u>、日ごろ、糖尿病についての知識をどこから得ていますか。
複数ある場合は、<u>すべてに○</u>をつけて下さい。

1. 市民向けの糖尿病教室	2. テレビ・雑誌・新聞など
3. 家庭医学書や専門書	4. 友人、家族から
5. 患者会	6. その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
7. とくに知識を得ようとはこころがけてはいない	

質問8：糖尿病に関連する以下の事柄についてどの程度十分理解していますか。

① 合併症にどのようなものがあるか	1. 理解している　2. やや理解している 3. あまり理解していない　4. 理解していない
② 定期的な通院の必要性	1. 理解している　2. やや理解している 3. あまり理解していない　4. 理解していない
③ 食生活や運動など日常生活の自己管理のやり方	1. 理解している　2. やや理解している 3. あまり理解していない　4. 理解していない
④ 糖尿病の薬の効き方や副作用	1. 理解している　2. やや理解している 3. あまり理解していない　4. 理解していない

質問9：次の合併症にかかっていますか。かかっているもの<u>すべてに○</u>をつけてください。

1. 神経障害（しんけいしょうがい） (手足がしびれる、感覚がにぶくなるなど)
2. 腎症（じんしょう） (尿に蛋白（たんぱく）がでているなど)
3. 人工腎透析（じんこうじんとうせき）
4. 足壊疽（えそ）
5. 心臓病 (狭心症（きょうしんしょう）、心筋梗塞（しんきんこうそく）など)
6. 脳卒中 (脳出血、脳梗塞（のうこうそく）など)

質問 10：糖尿病のために眼科医を受診したことはありますか。

1. ある　　　　　　2. ない

↓

附問 10－1：最初に眼科を受診した時期はいつ頃でしたか。

（＿＿＿＿）年（＿＿＿＿）月頃　または　（＿＿＿＿）歳のとき

質問 11~13 は、糖尿病のため眼科医を受診したことのある患者さんのみお答えください。

質問 11：最初に<u>糖尿病のために</u>眼科医を受診した直接のきっかけは何ですか。

1. 内科医による指示があったから　2. 眼科の症状があったから。
3. その他のきっかけ（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

→ 附問 11-1：糖尿病のために眼科受診を最初に指示されてからすぐに眼科を受診しましたか。（質問 11 で「1.」を選択された方）

1. 3 ヶ月以内に受診した　　　　　2. 3 ヶ月以上放置した

質問 12：糖尿病網膜症の予防や治療のために眼科で定期的な検査を受けていますか？

1. ある　　　　　　2. ない

→ 附問 12－1：眼科医からどの程度の頻度で受診するよう指示を受けていますか。

（＿＿＿＿）週間に一度の割合

→ 附問 12－2：どの程度の頻度で受診していますか。

（＿＿＿＿）週間に一度の割合

質問 13：現在、あなたの眼の状態はどの程度の状態と考えていますか。

1. 知らない　　　　　2. 糖尿病網膜症には至っていない
3. 軽い網膜症　　　　4. やや重い網膜症
5. 重い網膜症

質問は以上です。有難うございました。

以下は患者さんはご記入しないで下さい。

医師記入欄

糖尿病の病型	1. 1 型糖尿病　2. 2 型糖尿病　3. その他
現在の治療方法	1. 食事・運動療法　2. 経口血糖降下剤　3. インスリン注射
当科初診日	＿＿＿＿年＿＿＿月
指示している受診の間隔	＿＿＿＿週間毎
当科受診状況	1. 指示通り受診している　2. ほぼ指示通り 3. あまり守っていない　4. まったく守っていない
眼科への紹介	1. 先生ご自身が紹介した　2. 紹介していない
最近の HbA1c	＿＿＿＿. ＿＿%

I-DR2

内科一般医用調査用紙

整理番号	

糖尿病網膜症に関する調査

（内科医師調査票）

<u>記入上のお願い</u>

- 回答は、本アンケート用紙の該当する<u>数字に○をつけてください</u>。
  また記述の場合は(　)内に記載してください。
- 先生が複数の医療機関にご勤務の場合は、主たる勤務先についてご回答ください。
- ご記入いただいたアンケート用紙は、**<u>平成 13 年 3 月 23 日(金)までに</u>**同封の返信用封筒にて事務局まで**<u>ご投函</u>**くださいますようお願いいたします。
- ご不明の点がございましたら事務局までお願いいたします。
  なお、メールまたはファックスでご連絡いただけると幸いです。

アンケート返送先・お問合せ

〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35 番地

慶應義塾大学医学部 医療政策・管理学教室

(担当：坂巻)

TEL: 03-5363-3774(直通)　FAX :03-3225-4829

E-mail:　sakamaki@ihep.or.jp

Ⅰ. ご診療状況の概要についてお伺いします。

Q1. 先生が1ケ月間に診療されているおおよその**糖尿病患者数(新患＋再来患者)**をご記入ください。

約________名

Q2. 先生が1ケ月間に診察される糖尿病患者(Q1)のうち、**新患患者数**をご記入ください。

約________名

Ⅱ. 糖尿病の患者教育についてお伺いします。

Q3. 糖尿病患者の教育のためにどのような方法を用いていますか。用意されているもの**すべてに○**をお付けください。

1. パンフレット　2. 病院の糖尿病教室　3. 保健所や市の糖尿病教室への紹介
4. 患者会の紹介　5. 書籍の紹介
6. その他（____________________）

Q4. 患者さんが定期的な通院や指示した治療を守らない場合、どのように対処していますか。

1. 来院時に患者に口頭で注意　2. 電話で指示、注意
3. その他（____________________）

Q5. 患者に教育をする場合、家族に対する教育にも配慮されますか。

1. 配慮する　2. あまり配慮しない　3. 配慮しない

III. 糖尿病診療に関して他医療機関との連携についてお伺いします。

Q6. 糖尿病の患者のうちで、他科あるいは他の医療機関に1ヶ月に月およそ何人の患者を紹介していますか。(新患としてだけではなく、継続的に通院されている患者のチェック依頼等を含みます。)

① 他院の内科：________ 人

② 他院の眼科：________ 人

③ 院内の眼科：________ 人

Q7. より良い糖尿病治療の体制作りにおいて、以下はどの程度整備されているとお考えですか。

① 医療機関の間の連携体制	1. 全くなく整備が必要　2. 一部機能しているが改善の余地あり 3 機能しており現状で十分　4. 整備の必要なし
② 統一した紹介状の作成	1. 全くなく整備が必要　2. 一部機能しているが改善の余地あり 3 機能しており現状で十分　4. 整備の必要なし
③ 糖尿病の診療ガイドライン	1. 全くなく整備が必要　2. 一部機能しているが改善の余地あり 3 機能しており現状で十分　4. 整備の必要なし
④ 医療機関、地域、職場での標準化された患者の教育プログラム	1. 全くなく整備が必要　2. 一部機能しているが改善の余地あり 3 機能しており現状で十分　4. 整備の必要なし
⑤ 内科医の網膜症予防に対する体制	1. 全くなく整備が必要　2. 一部機能しているが改善の余地あり 3 機能しており現状で十分　4. 整備の必要なし
⑥ 職場や地域の検診における糖尿病網膜症検査	1. 全くなく整備が必要　2. 一部機能しているが改善の余地あり 3 機能しており現状で十分　4. 整備の必要なし
その他（あれば、具体的にご記入ください：____________________）	

Ⅳ. 眼科とのご関係についてお伺いします。

Q8. 眼科へ糖尿病の患者を紹介される場合、紹介の形式はそれぞれどの程度の割合ですか。

①紹介状を特につけず、口頭による紹介：（＿＿＿%）

②紹介状(検査依頼)はあるが、内科の詳細情報(検査値･所見など)はつけない（＿＿＿%）

③紹介状(検査依頼)に内科の詳細情報(検査値･所見など)をつける（＿＿＿%）

Q9. どのようなタイミングで眼科医へ網膜症検査の依頼をされていますか。依頼をされているタイミングのすべてに○をお付けください。

1. 耐糖能異常が指摘された段階
2. 糖尿病の確定診断後すぐ
3. 経口的糖尿病薬の服用開始頃から
4. インスリン治療を開始する頃から
5. 眼科症状が出現してから
6. その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

Ⅴ. 先生のご勤務先、先生ご自身についてお伺いします。

Q10. 主なご勤務先の区分をご記入ください。

１．病院　２．有床診療所（２０床未満）　３．無床診療所

Q10 以下の勉強会、学会に参加されているものすべてに○をお付けください。

1. 日本糖尿病学会
2. 日本糖尿病眼学会
3. 日本糖尿病合併症学会
4. 日本成人病学会
5. 糖尿病学の進歩
6. 西東京臨床糖尿病研究会
7. 地域を中心とした糖尿病の勉強会
8. その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

（質問は以上です。ご協力ありがとうございました）

O-D 眼科医用調査用紙

整理番号	

糖尿病網膜症に関する調査
（眼科医師調査票）

記入上のお願い

• 回答は、本アンケート用紙の該当する**数字に○をつけてください**。
また記述の場合は(　)内に記載してください。

• 先生が複数の医療機関にご勤務の場合は、主たる勤務先についてご回答ください。

• ご記入いただいたアンケート用紙は、**平成 13 年 3 月 23 日(金)までに**同封の返信用封筒にて事務局まで**ご投函**くださいますようお願いいたします。

• ご不明の点がございましたら事務局までお願いいたします。
なお、メールまたはファックスでご連絡いただけると幸いです。

アンケート返送先・お問合せ
〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35 番地
慶應義塾大学医学部 医療政策・管理学教室
(担当：坂巻)

TEL: 03-5363-3774(直通)　FAX :03-3225-4829
E-mail:　sakamaki@ihep.or.jp

Ⅰ. 糖尿病患者についての診療概況についてお伺いします。

Q1. 先生が１ケ月間に診療される**糖尿病網膜症**の平均的な患者数をご記入下さい。

１ヶ月あたり平均　約＿＿＿＿名

Q2. 先生が１ケ月間に診察される糖尿病患者のうち、**糖尿病網膜症には至っていない**が網膜症予防等のために検査を行っている平均的な患者数をご記入下さい。

１ヶ月あたり平均　約＿＿＿＿名

Q3. 先生が１ケ月間に診察される糖尿病患者のうち、**初めて眼科を受診**する平均的な患者数をご記入下さい。

１ヶ月あたり平均　約＿＿＿＿名

Q4. 初めて眼科を受診する糖尿病患者**(Q3)**のうち、**内科からの指示により来院する患者**の平均的な割合（または人数）をご記入ください。

１ヶ月あたり平均　約＿＿＿＿％　または　約＿＿＿＿名

Q5. 初めて眼科を受診する新患の糖尿病患者**(Q3)**のうち、初診時に**中等度以上の糖尿病網膜症**（前増殖性網膜症以上の重症度）と診断されるものの平均的な割合（または人数）をご記入下さい。

１ヶ月あたり平均　約＿＿＿＿％　または　約＿＿＿＿名

Q6. 調査期間（3/12～3/17）内に、ご診察された糖尿病患者数をご記入ください。
（患者アンケートを実施の有無に関わりなく、すべての糖尿病患者を含みます。）

約＿＿＿＿名

II. 糖尿病の患者教育についてお伺いします。

Q7. 糖尿病患者の教育のためにどのような方法を用いていますか。用意されているものすべてに○をお付けください。

1. パンフレット	2. 医療機関の糖尿病教室	3. 保健所や市の糖尿病教室への紹介
4. 患者会の紹介	5. 書籍の紹介	6. その他（＿＿＿＿＿＿＿＿）

Q8. 患者さんが定期的な通院や指示した治療を守らない場合、どのように対処していますか。

1. 来院時に患者に口頭で注意	2. 電話で指示、注意
3. その他（＿＿＿＿＿＿＿＿）	

Q9. 患者に教育をする場合、家族に対する教育にも配慮されますか。

1. 配慮する	2. あまり配慮しない	3. 配慮しない

III. 糖尿病診療に関して他医療機関との連携についてお伺いします。

Q10. 糖尿病患者のうち、他科あるいは他の医療機関に 1 ヶ月に月およそ何人の患者を紹介していますか。(新患としてだけではなく、継続的に通院されている患者のチェック依頼等を含みます。)

① 他院の内科：＿＿＿＿ 人	②院内の内科：＿＿＿＿ 人
③ 他院の眼科：＿＿＿＿ 人	

Q11. より良い糖尿病治療の体制作りにおいて、以下はどの程度整備されている・あるいは必要とお考えですか。

① 医療機関の間の連携体制	1. 全くなく整備が必要　2. 一部機能しているが改善の余地あり　3 機能しており現状で十分　4. 整備の必要なし
② 統一した紹介状の作成	1. 全くなく整備が必要　2. 一部機能しているが改善の余地あり　3 機能しており現状で十分　4. 整備の必要なし
③ 糖尿病の診療ガイドライン	1. 全くなく整備が必要　2. 一部機能しているが改善の余地あり　3 機能しており現状で十分　4. 整備の必要なし
④ 医療機関、地域、職場での標準化された患者の教育プログラム	1. 全くなく整備が必要　2. 一部機能しているが改善の余地あり　3 機能しており現状で十分　4. 整備の必要なし
⑤ 内科医の網膜症予防に対する体制	1. 全くなく整備が必要　2. 一部機能しているが改善の余地あり　3 機能しており現状で十分　4. 整備の必要なし
⑥ 職場や地域の検診における糖尿病網膜症検査	1. 全くなく整備が必要　2. 一部機能しているが改善の余地あり　3 機能しており現状で十分　4. 整備の必要なし
その他（あれば、具体的にご記入ください：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）	